

普及活動情勢報告（令和7年1月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

新規就農者の確保、定着に向けて ～ 新規就農相談会 ～



率直な意見交換を実施

1月9日、JA高知県四万十農協会館で新規就農相談会が開催され、3名の参加がありました。

普及所は、役場、JA営農指導員、農業委員会の担当者と共に、就農時の支援事業の概要や農業研修の紹介、管内の就農品目に関するアドバイスなどを行いました。

相談者からは、「就農時期についてよく考えたい」「経営開始にあたって準備すべきものがわかった」などの声が聞かれました。

普及所では、今後も関係機関と協力し、就農相談から就農後の定着支援に取り組んでいきます。

まずはハウス内環境を知りましょう！ ～ イチゴ部会現地検討会 ～



現地検討会でハウス内環境の見える化を紹介

1月15日、JA高知県高西地区四万十イチゴ部会とJA十和支所大正園芸部イチゴ部会の合同現地検討会を行い、生産者4名が参加しました。

普及所からは、収量向上に向けて厳寒期の栽培管理のポイントと合わせて、ハウス内環境を見える化する取組を紹介しました。

参加者は、実際のハウス内環境データを見て、日中の炭酸ガス濃度の低さに驚いていました。まずは気付く事が大切で、「改善できるところから改善していこう」と意識を新たにに取り組んでいくことになりました。

普及所では、今後もイチゴの生産安定に向けて支援をしていきます。

大きな栗を収穫しよう！ ～十和・大正地区での栗剪定講習会～



高木化した栗の剪定を実演

1月17日にJA高知県十和支所栗部会が剪定講習会を開催し、農家と関係機関合わせて16名が参加しました。

講習会は十和及び大正地区の3カ所で実施し、普及所から剪定の考え方や切り方を説明した後、低樹高栽培の骨格づくり、高木化した木の剪定、結果母枝を残す場所や予備枝の取り方などについて、実際に剪定しながら説明しました。

農家からは、品種に応じた剪定方法、カミキリ虫防除などについて多くの質問や意見があり、活発な意見交換ができました。

今後は個別巡回を中心に、農家の剪定作業を支援していきます。